

令和6年3月18日
高齢施策担当部高齢者支援課

地域ケア会議の実施結果概要

区では、地域ケア会議について区全域単位で実施する「地域ケア推進会議」、日常生活圏域単位で実施する「地域ケア圏域会議」、地域包括支援センター担当区域単位で実施する「地域ケアセンター会議」、「地域ケア予防会議」、「地域ケア個別会議」を実施している。

1 日常生活圏域ごとの会議（地域ケア圏域会議）

(1) 目的

地域ケアセンター会議で把握された地域課題を4つの圏域単位で協議する会議。地域の様々な関係機関で地域課題を共有し、それぞれの役割分担を整理し、地域課題の解決を目指す。

(2) 各圏域の開催日・テーマ・目的・主な参加予定者・主な意見について

① 練馬圏域（2月2日開催）

【テーマ】長期化するひきこもりの方を抱える高齢者世帯への支援を考える

【目的】地域の高齢者を支援する中で、同居家族の問題を抱えている世帯も少なくない。引きこもりの方向けの支援機関の活動内容などを知り、自分たちの地域にどんな方がいて、どんなことができるかを考える。

【主な参加者】ねりま若者サポートステーション、民生児童委員、町会長、地域団体、居宅介護支援事業所、薬局、練馬ボランティア・地域福祉推進センター、三療師会

【主な意見】

- ・困っている世帯のほうから声が上がるとはあまりなく、気になる世帯はあるが積極的に声を掛けていってよいものか悩む。
- ・有益な情報があっても、それが本人のところに届かない心配がある。
- ・外に出る機会・きっかけ作りは必要。小さな成功体験を積み重ねていって、社会に出られるよう支援することができればよい。

② 光が丘圏域（2月21日開催）

【テーマ】高齢者の消費者被害を未然に防ぐ地域づくりのために

【目的】後を絶たない詐欺等被害を地域の力で防止するために何が出来るかを検討する

【主な参加者】 地域包括支援センター、民生委員（各地区代表の方）
光が丘地区連絡協議会、練馬区消費生活センター
光が丘ボランティア・地域福祉推進センター

【主な意見】

- ・消費生活支援センターの相談員の方に講話頂き、消費生活被害に関する練馬区の状況や最新の情報について知る事が出来た。
- ・参加者への事前アンケートの結果や実際の関わった事例については、相談員の方にコメント頂き、対処法などを学んだ。
- ・地域での見守り意識が重要になる事をあらためて共有した。

③ 石神井圏域（2月5日開催）

【テーマ】 高齢者が地域とつながるために ～地域力の再発見～

【目的】 地域の関係機関が、自分たちの地域の強みや課題等について話し合い考える機会を持つと共に必要だと感じる取り組み等について検討する。また、他地域の現状を共有することで、今後の見守りや地域づくりに活かす。

【主な参加者】 練馬ボランティア・地域福祉推進センター

保健相談所、福祉事務所（相談係・障害者支援係・保護係）
高齢者支援課、地域包括支援センター

石神井警察署生活安全課防犯係、石神井消防署警防課防災安全係、練馬区歯科医師会、練馬区薬剤師会、JKK 東京、民生委員

【主な意見】

- ・公の場所よりも近所の方や顔見知りの方が行っている所の方が行きやすく、繋がりやすいのではないか。地域の方が集まりやすい居場所を作り、そしてそれを動かすエンジンとなってくれる人を発見していくことが大切。
- ・人と人を繋げるための情報収集や発信、場の提供など、考えなければならぬ課題を改めて認識した。

④ 大泉圏域（2月27日開催）

【テーマ】 若年性認知症について

【目的】 若年性認知症について、練馬区における支援の現状と、必要な支援について情報共有し、実際の相談支援に活かす。

【主な参加者】 地域包括支援センター、高齢者支援課、石神井・大泉保健相談所、若年性認知症ねりまの会 MARINE、練馬若年性認知症サポートセンター、NPO 法人お茶福、コロナの会、ブーケの会、エスケアライブ練馬、大泉障害者地域生活支援センターさくら大泉ボランティア地域福祉推進センター

【主な意見】

- ・中高年世代の引きこもりや 8050 問題などの複合的な問題を抱えている世帯が増えている。
- ・若年性認知症の家族を抱えた世帯に対しても、行政や民間団体、介護保険事業所等で協力体制を敷き今後の支援策を検討していく必要がある。

2 地域包括支援センターごとの会議

(1) 地域ケアセンター会議

① 目的

地域ケア個別会議と地域ケア予防会議を通じて抽出された地域課題について、その解決に向け、地域で暮らす・働く・活動する関係者で話し合う。

② 実施回数

令和 5 年度下半期 27 回（2 月までの開催 25 か所 3 月開催予定 2 か所）

③ 主な参加者

民生・児童委員、町会・自治会、老人会、訪問支援協力員、介護サービス事業所（ケアマネジャー含む）、医療機関、警察署、社会福祉協議会、図書館、敬老館等

④ 主な検討事例

ア 認知症の方への支援について

「認知症の方にやさしい街づくり」をテーマに、これまで認知症の家族に寄り添い支援されてきた地域の家族会の活動について紹介し、認知症の方および家族の支援について考えた。

（主なご意見等）

- ・ 元気なうちから地域の中に入っていけるような意識が大切だと思った。
- ・ 高齢になると情報を得ることが難しい状況でもあるため、周囲が気づいて支援できるような普段からの交流の場があればスムーズに行くように感じた。
- ・ 本人の良い面、得意な面を大切にして遠慮や恐れのない意見・考えが交換できる場所が必要だと感じた。

イ 地域の防災について

「地域の資源を知ろう」をテーマに、地域の防災資源がどこにあるか、どんな役割を果たしているかを共有した。また、他地区の資源を知り、今後の資源整備に役立てるために、「充足しているもの」「充足できていないもの」を確認した。

（主なご意見等）

- ・コロナ禍で地域の繋がりが途切れた後、改めて地域を見直す良い機会となった。
- ・今後も地図作り等行いながら「地域を知る」行動を継続していく意義を改めて確認する機会となった。
- ・災害時、支援してくれる人をどのように集めていくか、考えなければならぬと思った。

ウ 8050 問題について

「事例を通して 8050 問題について地域での支援を考える」をテーマに、生活サポートセンターの事例から、8050 問題について地域での支援を考えた。

(主なご意見等)

- ・ つながる支援のために、関係機関がお互いに手を伸ばすことが大切と理解することができた。
- ・ 地域のネットワーク作り、近所づきあいの大切さを共有し、地域作りへの足掛かりの機会となった。
- ・ グループワークを通じて、多職種で様々な意見を活発に交換する機会となり、色々な支援の視点を学ぶことができた。

エ 終活について

「自分の将来を自分で決められる地域づくり」をテーマに、事前アンケートで関心の高かった「生前整理」と「老人ホーム・施設」について学んだ。

(主なご意見等)

- ・ 生前整理については、ご本人の気持ちが大切なので、利用者との会話を広げてまず小さい`捨てる`から始めていきたい。
- ・ 終活について、地域の方と考える機会を持つことができた。
- ・ グループワークで同じ地域の方と介護保険事業者とが顔の見える関係を作ることができた。

(2) 地域ケア予防会議

①目的

多職種協働により個別ケースを検討し、自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントの実施を支援する。

②実施回数

令和 5 年度下半期実績 28 回

③主な参加者

理学療法士、作業療法士、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、主任介護支援専門

員、地域包括支援センター

④主な検討事項

今年度より、KDBシステムおよび高齢者能力向上トレーニング終了者の中で、低栄養・身体的フレイル・重症化予防等の観点から、課題を持つケースを抽出し、より効果的にケアマネジメントを実施するために検討を行った。

- ・ 医師から勧められた運動のほか、趣味活動への意欲も高い方が、動きすぎによる症状の悪化を防ぎながら、趣味活動を行うための支援について
- ・ 筋力低下により歩行に不安が生じ、以前より閉じこもりがちとなっている方の歩行能力改善に向けた支援について
- ・ 糖尿病発症後、心筋梗塞や心不全、網膜症を発症し、糖尿病の進行による身体状況の悪化がある方の重症化防止について

(3) 地域ケア個別会議

①目的

個別ケースの検討を通じて、高齢者の課題解決を支援するとともに、課題解決に向けた社会資源の把握や地域包括支援ネットワークの構築を図る。

②実施回数 ※27 か所で実施した合計

令和5年度下半期 120回（2月末まで）

③主な参加者

本人、家族、民生・児童委員、医師、医療機関相談員、担当の介護支援専門員、社会福祉協議会、司法書士、介護サービス事業所、障害サービス事業所、保健相談所、総合福祉事務所、生活支援員、地域包括支援センター 等

④主な検討事項

- ・ 認知症のある高齢者のみ世帯の在宅生活を支えるために
- ・ 認知症と身体状況が急激に悪化している独居高齢者の支援について
- ・ 認知症により金銭管理が困難となってきた高齢者の支援について
- ・ 男性の独居生活を支えるために
- ・ 高齢者と精神疾患を抱える子の2人暮らしをどう支えるか
- ・ 共依存関係にある親子の支援について
- ・ 8050問題について
- ・ 障害サービスから介護保険サービスへの移行について
- ・ 在宅で適切な療養を受けて生活をおくるために
- ・ 事業所や担当者交代を頻繁に求めるケースへの対応について